

## V 財務諸表に対する注記

### 1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券は取得原価法を採用している。

②その他の有価証券で市場価額のあるものは、期末市場価格等に基づく時価法を採用している。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	870,321,265	△ 158,395,930	0	711,925,335
定期預金	70,000,000	0	0	70,000,000
小 計	940,321,265	△ 158,395,930	0	781,925,335
特定資産				
事業積立資産	6,000,000	4,000,000	0	10,000,000
小 計	6,000,000	4,000,000	0	10,000,000
合 計	946,321,265	△ 154,395,930	0	791,925,335

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対する額)
基本財産				
投資有価証券	711,925,335	( 711,925,335 )	( 0 )	( - )
定期預金	70,000,000	( 70,000,000 )	( 0 )	( - )
小 計	781,925,335	( 781,925,335 )	( 0 )	( - )
特定資産				
事業積立資産	10,000,000	( 0 )	( 10,000,000 )	( - )
小 計	10,000,000	( 0 )	( 10,000,000 )	( - )
合 計	791,925,335	( 781,925,335 )	( 10,000,000 )	( - )

5. 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
投資有価証券			
大阪府公募公債 第386回	30,000,000	28,875,000	△ 1,125,000
合 計	30,000,000	28,875,000	△ 1,125,000

6. 指定正味財産から、一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から、一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息振替額	275,901
基本財産受取配当金振替額	30,856,350
受取寄付金振替額	0
合 計	31,132,251